

郡山警察署・福島県警交通指導課へ「感謝状」を贈呈しました**～整骨院院長らによる保険金詐欺事件に対して～**

日本損害保険協会東北支部福島損保会（会長：小林 秀次・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社福島支店長）では、この度、保険金詐欺事件で犯人を検挙した福島県警交通指導課と郡山警察署へ感謝状を贈呈しました。

12月13日（水）に福島県損害保険防犯対策協議会総会の場で行われた贈呈式には、郡山警察署の 遠藤 勉 署長と福島県交通部交通指導課の 梅津 規 課長が出席し、福島県損害保険防犯対策協議会の 小林 秀次 会長から、「粘り強い捜査により検挙され、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をいただいた」として感謝状が手渡されました。

2023年2月から10月にかけて、交通事故の偽装や通院日数の水増しなどの手口で、保険会社等から合計約727万円を騙し取ったなどして、4件の事件に関与した12人が詐欺容疑などで逮捕されました。すべての入院日数の水増し事案に、同一の整骨院院長が関与しています。

保険金請求を不審に思った損害保険会社からの相談を端緒に、郡山警察署および福島県警交通指導課が共同捜査を行い、逮捕に至りました。

遠藤署長および梅津課長からは、保険会社の捜査への協力に感謝するとともに、疑義のある事案があれば遠慮なく連絡をもらいたいとコメントがありました。同協議会の小林会長からは、保険金詐欺は巧妙・悪質化し、損保各社だけでは見抜くことが困難な事案も増えてきており、県警等関係機関の協力が必要であることから、引き続きの連携について依頼がありました。

式には、福島民報社および福島民友新聞社の取材があり、後日報道がなされました。



両者への贈呈



集合写真

(左から小林会長、遠藤署長、梅津課長)